

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 17, No. 3

神奈川県立生命の星・地球博物館

Sept., 2011



相模湾に潜る ～ JAMSTEC の広報航海～

城ヶ島沖南南西 10 km
2010年8月24日撮影

おおしまみつはる
大島光春 (学芸員)

無人探査機「ハイパードルフィン」が、水深 1,000 m を超える相模湾の海底から、母船である調査船「なつしま」へ帰ってきました。8 時に潜航を開始し、16 時 30 分に浮上しました。その間、相模湾の海底を絶え間なく移動し、動画と静止画を「なつしま」へ送り続け、海底のコア（柱状の泥）や岩石サンプルを採取しての帰還です。

私にとっては毎日といって良いほど目にする相模湾の海ですが、深海底には私たちにとって非日常の光景が広がっています。潜航の開始から海底の様子

が映し出される複数のモニタを見つめ続け、そこに映し出される海底の様子や生き物を記録し続け、興奮し続けた私たちは、ハイパードルフィンを迎える夕方には、くたくたです。でも、もうすぐ深海から上がってきたサンプルをこの手にできる！というそんな時間でもあります。

2008 年 9 月と 2010 年 8 月に行われた、（独）海洋研究開発機構（JAMSTEC）の広報航海に参加したときの 1 コマです（22 ページに関連記事）。